

新入学児童・園児 交通事故に注意

4月になり新入学児童・生徒が活動し、本格的に歩行者・自転車の活動期に入ります。
北海道警察では、4月8日から12日までの5日間を、新入学(園)期の交通安全期間に設定し

- 新入学(園)児童・園児の交通事故防止
- 自転車利用者の安全利用の推進

を重点に「保護者や大人が見守り、地域ぐるみで交通事故防止活動を！」と呼びかけています。

子供の特性

○ 飛び出しが多い

子供が道路脇で遊んでいるときや道路の両側に子供がいるようなときに飛び出してくる危険があります。

○ 他の子供の真似をする

一人が道路に飛び出すと・・・他の子供も真似をして飛び出すことがあります。

○ 大人と一緒にいるときのほうが行動が悪化する

子供は大人と一緒にいるときのほうが、安心感から行動が悪化するといわれています。
大人が直ぐそばにいるからと言って、飛び出してこないとは限りません。

事故防止のポイント

1 危険を予測した運転

学校や幼稚園、保育園、公園付近など子供の多い場所では・・・

「子供が飛び出して来るかもしれない」と考えて、スピードを十分落とすなど危険を予測した安全な走行を行う。

特に駐車車両付近は、飛び出しの危険性が大きくなりますので要注意です。

2 乗車前に車の周囲に子供がいなか確認する

駐車中の車の下に子供が隠れていたり、車の周囲で子供が遊んでいることがあります。

乗車する前に車の周囲を確認しましょう。

3 子供から目を離さない

複数の子供がいるときは行動が悪化します。

下校中など数人の子供が道路脇にいるときは、子供から目を離さず慎重に走行しましょう。